

「土曜日はスポーツの日」
～ネーミングと広報、時間中の自由参加が成功ポイント～
(下松中央スポーツ振興会 山口県下松市)

1. 事業の全体概要

下松中央スポーツ振興会では、「土曜日はスポーツの日」というプレ事業を、毎週土曜日に開催しています。活動種目はバドミントン、ラージボール卓球、キンボール、パドルテニス、太極拳の5種目であり、多種目のスポーツ教室が開催されています。

事業の対象は、下松中央公民館区(下松中学校区)に在住の全ての地域住民であり、子どもから高齢者まで多世代に渡って活動しています。



下松中央スポーツ振興会は、今年度より創設支援事業を受託してクラブづくりをスタートさせました。準備活動を進める中で、下松市民体育館の市民開放日である土曜日 18 時から 21 時が、利用可能であることがわかりました。

そこで、地域住民のスポーツ実施率の向上、そして来年度設立予定のクラブのPRを目的として、このプレ事業を計画し開催することになりました。



広報活動は、市広報、Kビジョン(ケーブルテレビ) 2ヶ月に1度の市の施設や商店街へのチラシの貼り付けなどを行い、地域に向けて広く広報をしています。その活動の成果もあり、スポーツ教室には子どもから高齢者まで毎回約50名の方が参加されています。

2. 成功のポイント

この事業が成功しているポイントの一つとして広報活動の充実が挙げられます。様々なツールを用いて広報活動を行うことで、地域に向けて広く情報を発信することができ、安定した参加者の確保に繋がっていると思われます。

また、スポーツ教室を「土曜日はスポーツの日」とネーミングすることで、地域住民に「土曜日はスポーツをする日」という意識を植え付けることができ、土曜日のスポーツ教室が生活習慣の一部になっていると思われます。

次に、「マーケティング」として18時から21時までの間ならいつ来て、いつ帰ってもよいという企画内容が成功のポイントとして挙げられます。地域住民が時間に縛られず気軽に参加できる条件設定が、意欲の向上に繋がりさらに、自分の都合に合わせることができるという面で非常に参加しやすい点が、毎回安定した参加者を確保できている要因であると思われます。

7月からこの事業を開催し、様々な方が参加される中で、子どもと高齢者が同じ競技を一緒に行うことにより地域住民の縦のつながりが生まれ、また同年代でも教室によって今まで関わりのなかった人が親交を深めて横のつながりも生まれるなど、地域のつながりが強くなっています。さらに、地域にある施設の有効活用にも繋がっています。

今後この事業がさらに地域に浸透していくことで、地域全体に「土曜日はスポーツの日」という意識が定着し、スポーツに親しむ環境が整い、住民間の絆がより一層深まることが期待できます。

(中山祐太郎 山口県クラブ育成アドバイザー)

< 下松中央スポーツ振興会 プロフィール >

1. 設立 平成22年(2010年)4月に設立準備委員会を発足(設立は、平成24年3月予定)
経緯: 体育指導委員やスポーツ団体関係者などが研修会に参加し総合型クラブに関する理解を深めたことがきっかけ
2. 地域 人口: 15,000人(山口県下松市下松中央地域)
特性: 下松市の中心部に位置し、大手企業の工場や商業施設が進出している人口密集地
3. クラブ 体育振興会役員や体育指導員、既存団体関係者、公民館など様々な人が設立準備に関わっており、来年度の設立を目指して活動している。会費決定、会員募集は来年度検討・決定の予定。
4. 連絡先 下松市教育委員会 〒744-8585 山口県下松市大手町3-3-3
TEL: 0833-45-1820 FAX: 0833-45-1849

関連リンク: 中山祐太郎氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/35.html>